

1

加入保障内容の充足感

生命保険に加入している世帯に、加入保障内容の充足感、支出可能保険料を尋ねた結果は次のとおりである。

(1) 加入保障内容の充足感

将来の生活設計を考えた場合、現在加入している保障内容で十分かどうかを尋ねたところ、『充足感あり』（「十分」と「ほぼ十分」の合計）が53.6%（前回46.1%）、『充足感なし』（「不十分」と「やや不十分」の合計）が31.5%（前回35.5%）と『充足感あり』が『充足感なし』を上回っている。

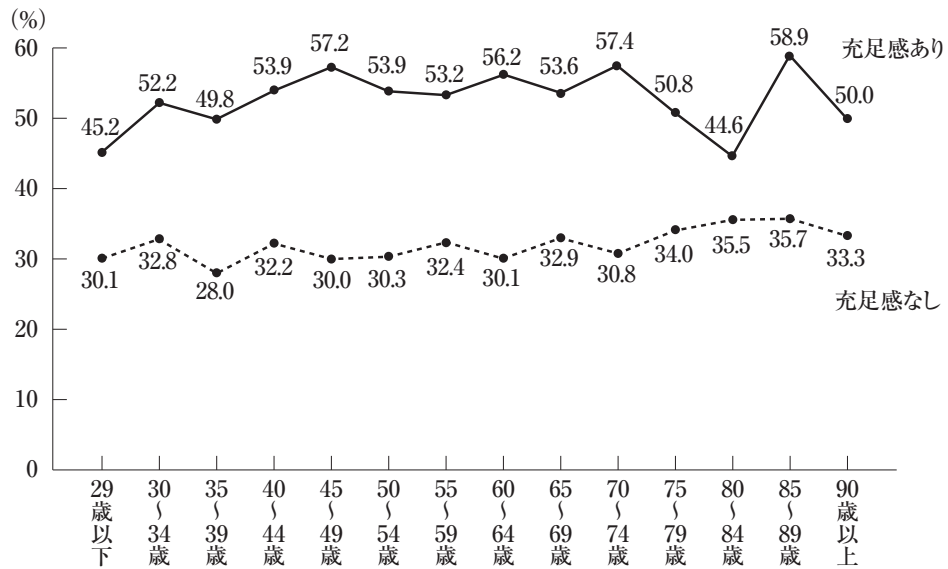
時系列でみると、『充足感あり』は2009（平成21）年以降増加傾向が続いており、初めて5割を超えている。（図表Ⅱ－1）

〈図表Ⅱ－1〉 加入保障内容の充足感

	“充足感あり”		不明	“充足感なし”		(%)
	十分	ほぼ十分		やや不十分	不十分	
2021 (令和3)年	15.5	38.0	14.9	23.4	8.1	(53.6%) (31.5%)
2018 (平成30)年	11.4	34.7	18.4	23.8	11.7	(46.1%) (35.5%)
2015 (平成27)年	8.8	29.5	29.5	22.8	9.5	(38.2%) (32.3%)
2012 (平成24)年	9.0	27.7	26.3	26.0	11.0	(36.7%) (37.0%)
2009 (平成21)年	8.1	24.7	34.6	22.2	10.4	(32.8%) (32.6%)

世帯主年齢別にみると、「29歳以下」、「35～39歳」、「80～84歳」の以外の層で『充足感あり』が5割を超えている。(図表Ⅱ-2)

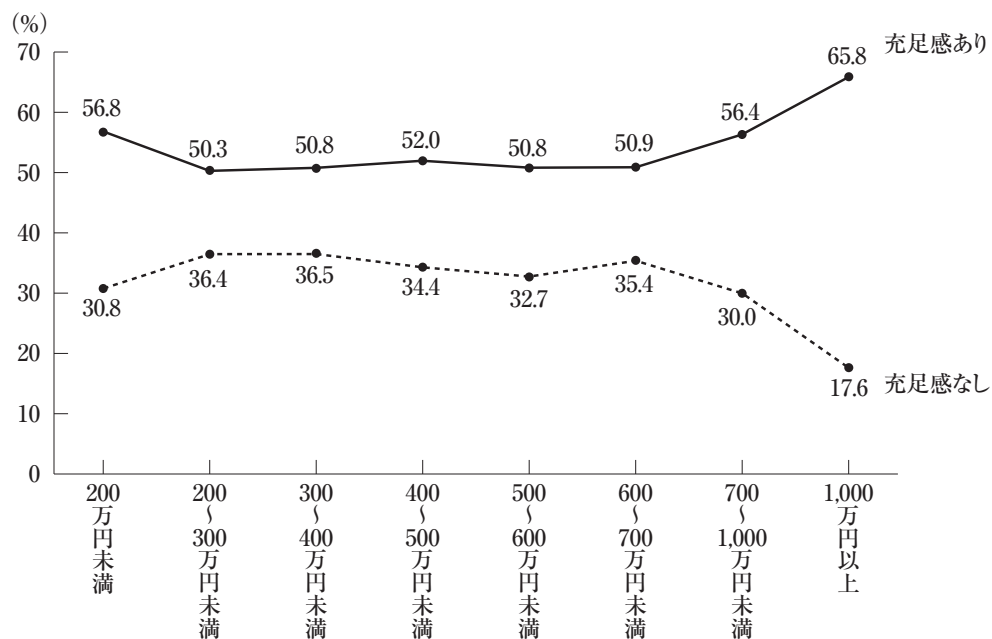
〈図表Ⅱ-2〉 加入保障内容の充足感 (世帯主年齢別)



*90歳以上はサンプルが30未満

世帯年収別にみると、全ての層で『充足感あり』が半数を超えており、特に「1,000万円以上」の層では、『充足感あり』と『充足感なし』の差が48.1ポイントと大幅に上回っている。(図表Ⅱ-3)

〈図表Ⅱ-3〉 加入保障内容の充足感 (世帯年収別)

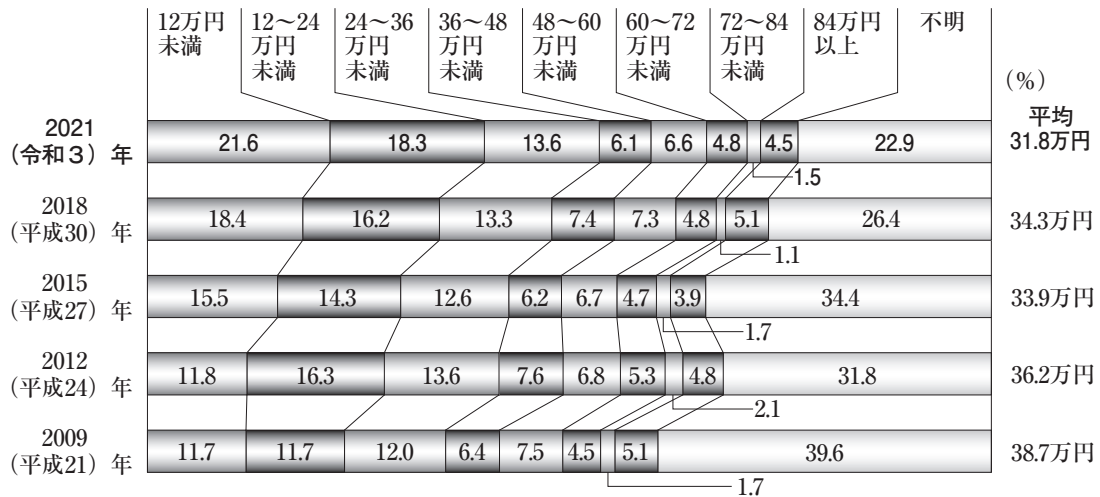


(2) 支出可能保険料

現在支払っている生命保険の保険料を含めて、世帯で1年間に最大いくらぐらいまでの保険料(個人年金保険の保険料を含む)を支出できるかについて尋ねたところ、平均31.8万円(前回34.3万円)となっている。

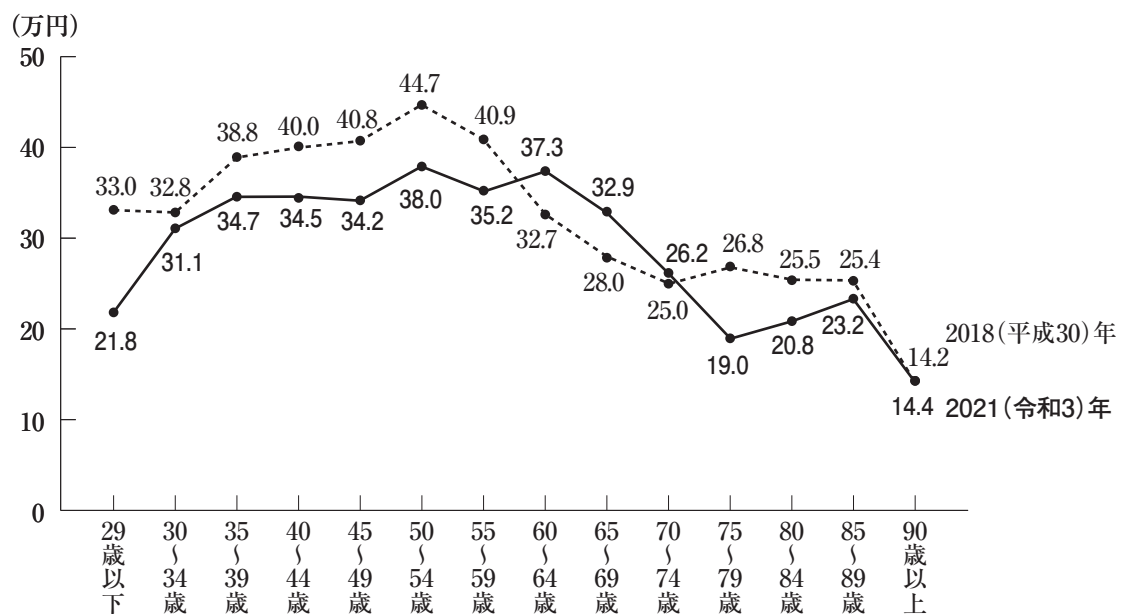
前回と比較すると、平均が2.5万円減少している。(図表Ⅱ-4)

〈図表Ⅱ-4〉 支出可能保険料



世帯主年齢別にみると、「30~34歳」から「65~69歳」まで30万円を超えており、「50~54歳」で38万円と最も高くなっている。(図表Ⅱ-5)

〈図表Ⅱ-5〉 支出可能保険料(世帯主年齢別)



*90歳以上はサンプルが30未満

世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高くなるほど支出可能保険料も高くなっており、世帯年収「1,000万円以上」では56.0万円となっている。(図表Ⅱ－6)

〈図表Ⅱ－6〉 支出可能保険料（世帯年収別）

